

医用システムの需要増見込む

電子カルテや画像診断など開発販売

厚生労働省が促進する医療機関のIT活用を背景に、市内のシステム会社が電子カルテや画像診断システムの開発、販売に注力している。

▽工業用顕微鏡の測定支援システムの(株)イノテック(中区)は、独自の画像処理技術を生かし、東京大学と連携して「膝関節診断支援システム」を開発した。レントゲン写真を自動分析して膝関節の面積や上骨の高さ、最大幅などを測定。これまで目視で行われていた診断評価を初めて数値化した。東大内の医局で年間テスト稼働し、来年の実用化を目指す。高齢化で同システムの需要は高いと見込み、将来は工業用システムに次ぐ柱に成長させたいという。